



朝日新聞1946年3月11日



朝日新聞1946年3月12日

朝日新聞1945年12月22日

街の議事堂

大阪府だけで婦人有権者は約八十五万七千人、年齢低下による有権者が約八万七千五百人—これだけがまじり新しく初の一選を投するわけだが、この人々はどんな選挙を行はうとしてゐるか、いさむを痛切に求めている。大阪府大憲院特別研究生 尾崎昭子助言

学生と一つ討論せよ

大府内で一選に三人を懸す新有権者が出来たが一般に選挙への関心は薄く、たゞこれをめぐっての学生が政治に無頓着なものは考へられない。既成政治家の不信や新人候補の感傷、議員たついでに一種の討論せよという大府内ではどうですか、男女のものがあつた場合、野次り飛ぶかも知れないが、眞実に立派な人なら一人で全員の票を獲り来ると思つて、たゞ早く政壇を叩きたつて。

新日本婦人會理事 尾田 和子女史

政治教育が徹底しなかつたら婦人有権者には何も期待出来ません

◆…も一つ心が心配するのは女性の候補者の職にのぼる人を擁護して過半数は一人ならいごと、これでは難選しても「女がふもこの地位が」か、女だからにはいけません、女だからにはいけません、投票しようといふことよりも投票しなさい、今度にはいさむ候補問題を解決してくれる実力のある候補者、党を離れ、きたことになり、

★—★

朝日新聞1945年12月24日

街の議事堂

「こんどの選挙はあらゆる意味で歴史的な、大切な、選挙なのです」…藤沢相夫氏はかう言頭して語つた

◆…今度の選挙ではあらゆる思想の立場の人が立候補することになり、その意味では私たちの意味の選挙として希望をもちやうになつた、従つて一般の人はほんたうに自分たちの代表になつてくれる人を選べるのだから、棄権をすることはいけない。

◆…ではどんな人たちが自分たちの利益を代表してくれるだろうか？つまりその人がほんたうに立派な人であるかどうか、これを見分けることが必要だ、それはその政治家の過去の経歴を見定めることがきしつめ大切な、婦人の友は従來の社会的な名譽や金力、権力をもつてゐた人間の中からはほらない、むしろ人民の友がある、これを忘れてはならない、また立憲演説會のやうなものやれば誰が眞の人民の味方であるかがはつきりすると思ふ。

◆…次に婦人の選挙は勿論喜ぶべきことであるが、しかし大切なことは私たちが自身の手で従來の職を捨て去つたときにはじめて私たちは自由になれるのだといふことを忘れてはいけないと思ふ、婦人の神聖的地位は今日なほ非常に低い、むしろ婦人はこの選挙の興へられたのを機会に自分たちが今日如何に低い地位にあるかを自覚してもらひ

◆…藤沢相夫氏

朝日新聞1945年12月26日

街の議事堂

立候補者があつて我々の人のまじりない候補をたれば、并へてゐるか—は大いに疑問だ、そこで某日大阪府に用する茂田憲太郎君といふ某物産社員、田喜一君といふ某物産社員、林富雄君といふ無職の復員将校、栗林留美夫君といふ某官廳の職員諸君から、議の場を聞いた—

◆…茂田 どの政党も敗戦のついでに三合配給を約束してゐる、しかも主だつた党の現代議士諸君は一体こんどの選挙で何を傳たいのか、食糧危機の切迫にたればどの熱意を見せたといふのか、選挙対策に血眼になつて肝臓のぼくの肌腹に眼を凝らすの多いのに暗然とした

田喜 どのどの何々組合とか何々會など沢山の分りぬ団体を生れてゐるが、これを団体の本質に利用され、貴重な一票を汚すことがあつてはならぬと吾々の仲間では警戒してゐる何とか慰安會など近頃の奇特な権しがあるといふのの、そいつをみると選挙の権しは全くの附け足して、その主権者は置上で起つてきたと演説する

◆…栗林 私の方の役所にも選挙権のある女子職員が多いが、てんで無関心、過半数の議士を頼んで政治教育をするといふ風、やういふ女の子は選挙権を奪取して貰つて不平といふでない

林 過日ある政界の演説會を聞いた、演説も至つて少かつたが大抵はその党の關係者で、いはば騙出された、まぐら、

◆…茂田 栗林 こんどの選挙では今までの約束不履行といつた無責任かつ民意を無視したものは絶対出さないやうに誓ひたい

林 選挙後といへば、教育議員の言行を監視、激動してゆく組織が出来ればと思つてゐる